

結婚観を探る

思い描く「結婚像」

Sさん 結婚は楽々への幸せなものであり、環境が変わることが新鮮に感じられるかもしれません。25歳への結婚して、30歳前には子どもがほしいです。タイムリが合えば、早い方がいいですね。将来のことを考えると、結婚しての方が安心感があると思うか、不安は少なくなると思います。

Nさん 同く、結婚はプラスのイメージを持っています。27、28歳までは結婚したいですね。昔は25歳への結婚が主流でしたが、気がつけばもうずいぶん遅いかもしれません。確かに、結婚しなければ将来的には一人ぼっちです。何か自分でもやってみようかな。温かい家庭を作りたいです。
Mさん 相手の強い希望があれば変わるのかもしれませんが、私は子どもはほしくないと考えていて、結婚したい年齢の希望も特ではありません。子どもがほしいという

う人は、高齢出産などのリスクを考えて、男女とも35歳より前がいいかなとは思っています。

Tさん 32〜35歳への結婚したいです。子どもがほしいので、自分が定年退職する時には子どもが独り立ちしているくらい、年齢がちょうどいい。結婚して子どもも含めてひとつの家族が共に生活していくイメージが強いですね。

Mさん 私は結婚＝家庭を築くための契約だと捉えています。お互いを法的に縛るといふのか、決意表明のような感じですか。法律上の関係にこだわる必要はないと考えているので、パートナーと一緒に暮らして、事実上は結婚といった家族の形もいかなと思います。ただ、転職したばかりで将来の予想がつかない部分も多々、今のところ結婚は考えていません。まずは仕事が落ち着いてからですね。

Tさん 私の場合、結婚していない一番大きな理由は、自分自身が今は独身でもいかなと思っただけです。仕事もまだ胸を張って一人前だとは言えませんが、プライベートでも一人の方が色々動きやすいので、もっとはば自由でやりたい

していきたいですね。

パートナーを求めるもの

Sさん パートナーは、休みの日は子どもと遊びに行っていたりするくらい、家庭的な方がいいです。家事の分担は、半々までは思っています。ある程度気にかけてくれる方がいいです。

Nさん お互いが気を遣わずに済む相手か理想ですね。子ども好きな人がいいです。
Mさん モラルと云うか、倫理的な価値観が合っている人でなければと思えます。それがかけ離れていると結婚生活は難しいです。一緒に成長していける相手がいいですね。

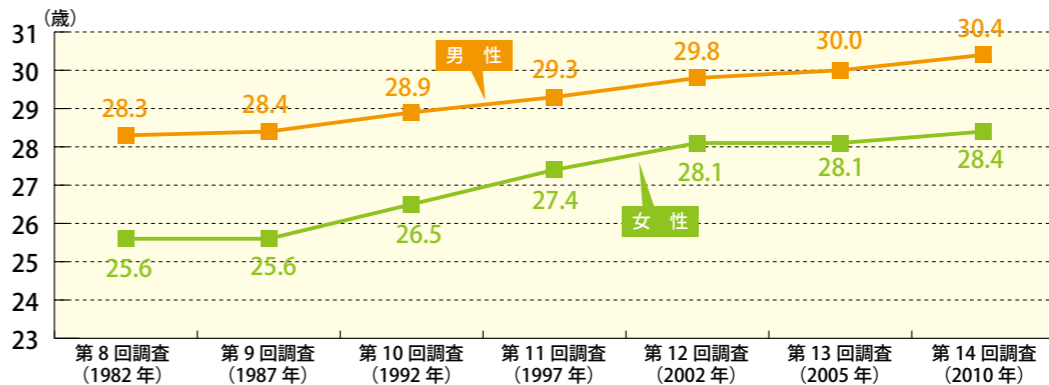
Tさん 一緒に楽しくとか笑いのツボや食事の好みが一致しているとか、そういったことが大切だと思います。ずっと生活を共にしていくので、お互いに相手のことを思いやれるかも大事ですね。

Sさん 仕事の面では、相手が非正規雇用だったら結婚に踏み切れないかもしれません。

結婚に対しての価値観が変化していると言われているようですが、どのくらい変わっているのでしょうか。

働いている20〜30歳代の男女4人に、結婚へのイメージやスタイルなど、ワーク・ライフ・バランスの観点も含めて伺いました。

◆未婚者の平均希望結婚年齢の推移



出典：平成25年版 厚生労働白書



女性(左から)
Sさん(20歳代前半・社会人歴1年目)
Nさん(20歳代前半・社会人歴1年目)
男性(右から)
Mさん(30歳代前半・社会人歴7年目)
Tさん(20歳代後半・社会人歴7年目)

Nさん 単に収入が低いのは気にしていませんが、アーティストなので、全くお金が入っていない可能性のある人だからためらいます。
Mさん 私は相手の雇用形態にはこだわりません。でも、自分自身は安定した職に就いていなければ結婚を口にすると思いません。相手の親も、子どもも結婚する相手か

結婚への不安はありますか？

不安な働き方をしているのは安心できない部分があるのではないのでしょうか。
Tさん 自分に明確な目標があって非正規で働いているのであれば結婚してほしいと言えるかもしれませんが、そうでなければ言えないと思います。

Nさん 結婚したら性格が全く変わってしまったとか、急に暴力を振るうようになったとか、そういうのは嫌です。金銭感覚があまりにも違っていたり大変ではないかなと思います。

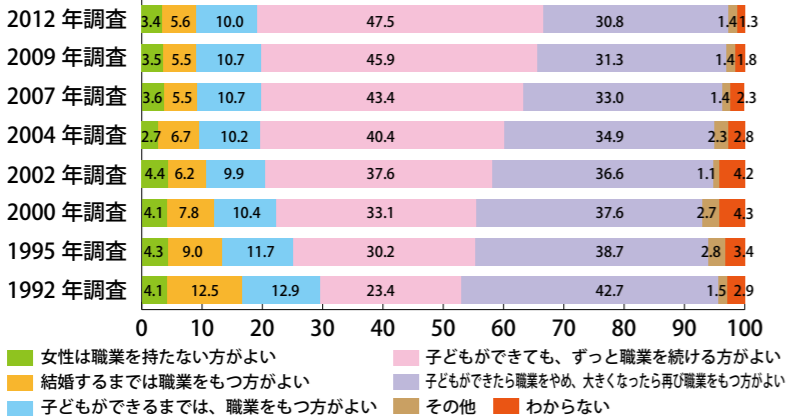
Sさん 今の段階では具体的な不安はそれほど無いのですが、あえて言うならお金のことでしょうか。精神的な余裕はやはり金銭面から出てくると思います。
Mさん 相手の家族や親戚とのつきあいが大変だったら……とは思います。正直、面倒くさいと思います。通らなければならぬ道なのではないかな。

Sさん 確かに相手の親と付き合いがいろいろかたくなっている親戚は多いです。将来的に介護や看護が必要になったら、できる範囲では取り組むつもりですが、100%任せられては困ります。

Nさん 私は相手方の介護や看護をするのは仕方ないかなと思います。必要であれば

ば仕事を辞めるかもしれません。両親とは長いおつきあいになるので、うまくやっています。
Tさん 介護や看護を理由に自分が仕事を辞めるというのは考えられませんが、相手が相手の親のために退職するのは、結構サポートしたいです。でも、自分の親のためにそうしてほしいとは思いません。親自身もそれを望んではいないと思います。
Mさん 私も自分が退職することはないので、介護サービスなどを利用しつつ経済的に支援する形にしたいです。自分たちだけで全てをやるのは現実的ではない気がします。自分の親のことは兄弟など協力して支えたいです。
Tさん 出産の時もお世話になります。相手の面倒は自分が関係が築きたいですね。パートナーが自分の親とうまくやれているかというのにも気にかかるところではあります。それから、実は自分がきちんと相手のことを思いやれるかなんです。急に飲みに行くことになった時に、面倒くさがらず連絡できるかなというところも気になります。
Sさん 飲みに行くのは構わないし、自分も行くとありますが、連絡が無いのは嫌ですね。子どもがいなくても、つきあっているのと結婚しているのでは違うところがあると思います。

◆女性が職業をもつことについての考え方



出典：平成25年版 厚生労働白書

急に誘ってもなかなか来てくれませんが、家に電話で確認して、もう食事が用意されているから、なご断られることが多いです。私は一人暮らしで自由な生活なので、そんな風に見えるかなと思います。
Mさん 意外に難しいですね。でも、何かをしてきた時にちょっと「ありがとう」といって、小さな思いやりがあれば、相手との関係は違ってくると思います。

Tさん はい。そういった思いやりがあれば、結婚生活の不安やリソースも少しは解消されるのかもかもしれません。

Sさん その前にまずは相手を見つけてるのが大変なんですけどね。なかなか出会いがない。

理想の結婚生活とワーク・ライフ・バランス

Sさん 働くこと自体は好きなので、子どもが産まれるまではこのまま働きたいです。その後はフルタイムの仕事にこだわらず、子育てが落ち着いてから新しい職場を探すのもいいかなと思います。今の会社は半分以上が女性で、育休などを取得している方も非常に多いので、結婚しても働き続けられる所ではありませんね。

Nさん 私と同じような考え方です。でもバリバリ働いている先輩の女性社員はかっこいいと思いますし、自分もあんな風に自信を持って働けたらいいなという憧れがあります。

Mさん 基本的には共働きで、家事などは公平に分担しつつ、お互いの時間はお互いの時間として大切にすることが理想ですね。子どもがいないのであれば、相手は結婚後も好きな働き方でいいと考えています。育休を取っている男性が実際に周りにいるので、もしも必要になったら自分も取れると思います。

分も取れると思います。

Tさん 私も共働きを想定しています。将来のことを考えると、経済的にはダブルインカムでなければきついなと。正規雇用と非正規雇用では待遇が全く違うので、相手には正社員でほしいです。だから家事を分担していく必要性は強く感じています。結婚している兄や姉の様子を見ても、女性だけに任せるのは難しいなと思っています。職場には結婚後も働いている女性がたくさんいますし、男性も育休が取れる環境です。ただ、その辺りの感覚には相手とのすり合わせが必要ですよ。

Sさん 相手に合わせて自分を変えていかなくてはいけないところはあってもいいかな。普段はそれぞれが好きなことをする時間があるって、友達と食事をしたり遊びに行ったりというのを自由にできる関係がいいですね。

Nさん 家事は分担と言いつつも基本的には自分がやってしまうと思いますが、辛い時は手伝ってもらいたいです。

Mさん 自分も相手も一通りのことはこなせるようにしておきたいですね。そうすれば、もし片方に何かあっても大丈夫なので。**Tさん** 細かいことは色々ありますが、そこは協力してやっていけば大丈夫だろうと思っています。

Nさん お互いに生活しやすい環境が作ればいいですね。適度に家事が分担でき

きて、どちらかだけに負担が偏っていないか、という感じでしょうか。辛くなりそうだったりその前に「助けて」と「言ってくれ合えるのが理想かな。」

Tさん 私は一人暮らしをするようになった瞬間に家族のありがたさを痛感しました。相手への感謝の心を忘れず、ちょっとしたことも「ありがと」「ごめんね」と言える関係を築いていかなければと思います。やっていけるのが当たり前になる、「なんだやっとなかったの」なんて責めたりもしてしまうのではなからうかがうか。

Mさん そういった関係はとも大切ですね。確かにずっと一緒に暮らしていると「いてくれて当たり前、やってくれて当たり前」になってしまうと思うので、気をつけたいです。

様々な仕事や生活のスタイルがある

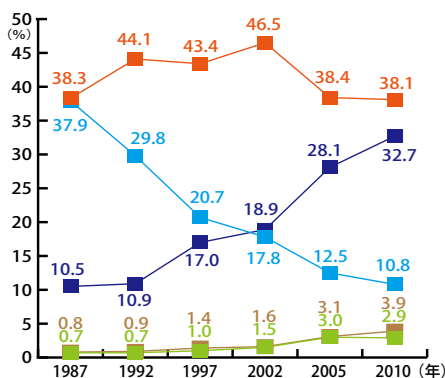
今、結婚や夫婦・家族のあり方についても価値観が多様化しています。今回の座談会でもそれぞれの思いを聞くことができましたが、思いやりを持ち、相手や相手の家族を大切にしながら生きていきたいという点は共通していました。

自分らしい生き方を実現させるためにも、ワーク・ライフ・バランスや結婚などについて、改めて考えてみたいはじきではないでしょうか。

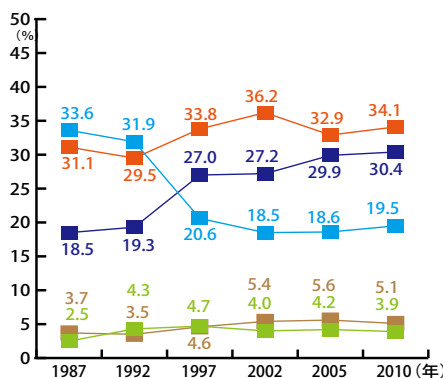


◆希望するライフコースの推移

男性が期待する女性のライフコース



女性の理想とするライフコース



出典：平成 25 年版 厚生労働白書